

副産物リサイクルの推進

電気炉スラグをリサイクルし、電気炉スラグ製品として販売するなど、副産物の再生利用に取り組んでいます。

電気炉スラグ製品の販売

当社はゼロエミッションを目指して、循環型社会の構築に向けた事業活動を推進しています。

製造工程で発生する鉄鋼スラグは、石、砂等の天然資源の代替材として活用され、工業製品として各方面で評価されています。当社では、鉄鋼スラグを破碎し、エージング処理を施して品質安定化を図り、電気炉スラグ製品の全量を出荷・販売しています。当社の電気炉スラグ製品は、道路用路盤材やアスファルト骨材として利用されており、2005年には、姫路市の資源循環型舗装のアスファルト骨材としても採用されています。

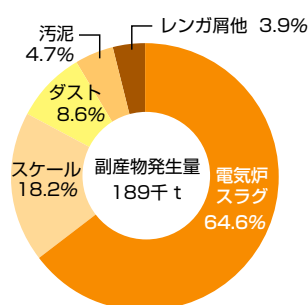
2009年7月には、電気炉スラグ製品のより一層の品質向上に向け、加圧式蒸気エージング設備を導入しました。これによって、スラグのエージング処理が短時間に、より確実に実施され、さらに品質の安定した信頼性の高い電気炉スラグ製品を提供しています。当社は、鉄鋼スラグ協会の「鉄鋼スラグ製品の管理に関するガイドライン」の順守を徹底し、製造、販売、品質等の各般にわたる管理体制を強化しており、さらなる資源循環型社会の構築に貢献してまいります。

副産物の再生利用

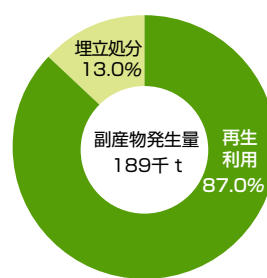
副産物の有効活用と埋立処分量抑制に向け、ダストの利用技術開発や汚泥の含有率の低減による発生量の削減、また、レンガ屑については用途開発推進による再資源化など、積極的な取り組みを推進しています。

資材購入にともなうダンボールや事務所から発生する紙ごみや空き缶、ペットボトル、プラスチック容器などの一般廃棄物は、分別回収を徹底し、資源としての再生利用に寄与しています。

● 副産物発生量の内訳



● 副産物処理方法の内訳



日本初の高圧処理能力を持つ加圧式蒸気エージング設備を導入

当社は電気炉スラグ製品の品質向上に向け加圧式蒸気エージング設備を導入しました。

当社では、かねてより製鋼工程の副産物として発生する電気炉スラグのリサイクルに取り組み、電気炉スラグ製品を路盤材やアスファルト骨材として提供しています。電気炉スラグ製品の製造工程では、「エージング」という体積安定化処理を施し、品質に関わる検査を行った後に製品を出荷しています。

今回導入した設備は、加圧蒸気を用いた製鋼スラグのエージング設備として、日本初の1.0MPaの高圧処理能力を持ち、短時間処理が可能であるとともに、製鋼スラグのエージング処理において高い処理能力を発揮します（従来の0.5MPaに比べ、処理時間の更なる短縮化が図れるほか、粒度の細かいスラグに対しても、粒子間に蒸気が浸透する等、高い品質安定性が期待できます）。

当社では、社内発生する電気炉スラグの全量を、この加圧式蒸気エージング設備で処理することで、「品質の安定した、信頼性の高い電気炉スラグ製品」を提供していきます。

